

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK36)

(函館水試担当地区)

2011年12月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 9.0	12/13	0	8.2	33.45	0	0	0	0	0	
		5	8.3	33.53	0	0	0	0	0	
		10	8.3	33.54	0	0	0	0	0	
		15	8.6	33.62	0	0	0	0	0	
		20	8.6	33.65	0	0	0	0	0	
		25	8.6	33.66	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 12.1	12/14	0	8.7	33.74	0	0	0	0	0	
		5	8.8	33.81	0	0	0	0	0	
		10	8.8	33.81	0	0	0	0	0	
		15	8.8	33.81	0	0	0	0	0	
		20	8.8	33.81	0	0	0	0	0	
		25	8.8	33.81	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 13.0	12/27	0	11.2	33.81	0	0	0	0	0	
		10	11.2	33.84	0	0	0	0	0	
		20	11.2	33.86	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

水温は12月中旬は噴火湾東部は8.2~8.6°C、噴火湾西部は8.7~8.8°C、津軽海峡は11.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK35)

(函館水試担当地区)

2011年12月9日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 6.0	12/6	0	8.1	33.29	0	0	0	0	0	
		10	8.1	33.31	0	0	0	10	0	
		20	8.1	33.30	0	0	0	0	0	
		30	8.1	33.32	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 13.0	11/29	0	11.1	33.66	0	0	0	0	0	
		5	11.2	33.66	0	0	0	0	0	
		10	11.2	33.67	0	0	0	0	0	
		15	11.2	33.67	0	0	0	0	0	
		20	11.2	33.66	0	0	0	0	0	
		25	11.1	33.67	0	0	0	0	0	
		30	11.1	33.66	0	0	0	10	0	
40	11.0	33.64	0	0	0	0	0			

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部と噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部と噴火湾湾口部に出現しています。

水温は11月下旬～12月上旬は太平洋中部は8.1°C、噴火湾湾口部は11.0～11.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK34)

(函館水試担当地区)

2011年12月1日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 9.0	11/17	0	12.5	33.63	0	0	0	0	0	
		5	12.5	33.64	0	0	0	0	0	
		10	12.5	33.65	0	0	0	0	0	
		15	12.5	33.65	0	0	0	10	0	
		20	12.5	33.65	0	0	0	0	0	
		25	12.5	33.65	0	0	0	0	0	
		30	12.4	33.68	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 14.0	11/18	0	12.2	33.45	0	0	0	0	0	
		10	12.3	33.48	0	0	0	0	0	
		20	12.5	33.63	0	0	0	0	0	
		30	12.5	33.66	0	0	0	0	10	Dt10
知内 津軽海峡 6.0	11/28	0	11.6	32.19	0	0	0	0	0	
		10	12.9	33.74	0	0	0	0	0	
		20	12.8	33.76	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部と津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

水温は11月中旬は噴火湾西部は12.2～12.5°C、津軽海峡は11.6～12.9°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK33)

(函館水試担当地区)

2011年11月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	11/1	0	12.5	33.16	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	12.1	33.24	0	0	0	0	0	
11.0		20	12.0	33.22	0	0	0	0	10	Dro10
		30	11.9	33.22	0	0	0	0	10	Dro10
虻田	11/7	0	13.9	33.03	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	14.0	33.39	0	0	0	0	0	
16.0		10	14.0	33.45	0	0	0	0	0	
		15	14.1	33.51	0	0	0	0	0	
		20	13.6	33.50	0	0	0	0	0	
		25	13.4	33.53	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部と噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

水温は11月初旬は太平洋中部は11.9~12.5°C、噴火湾東部は13.4~14.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK32)

(函館水試担当地区)

2011年10月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部 噴火湾湾口部 13.0	10/21	0	15.5	33.42	0	0	0	0	0	
		5	15.1	33.58	0	0	0	0	0	
		10	15.1	33.59	0	0	0	0	0	
		15	15.1	33.61	0	0	0	0	0	
		20	14.9	33.65	0	0	0	0	0	
		25	14.5	33.65	0	0	0	0	0	
		30	12.0	33.85	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 13.0	10/24	0	17.0	33.54	0	0	0	10	20	Dc10, Dro10
		10	16.8	33.61	0	0	0	0	0	
		20	16.6	33.69	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部と津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部には出現していません。

水温は10月下旬は噴火湾湾口部は10.8～15.5°C、津軽海峡は16.6～17.0°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK31)

(函館水試担当地区)

2011年10月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 13.0	10/11	0	17.1	32.91	0	0	0	0	30	Dt20, Di10
		5	17.1	32.93	0	0	0	0	40	Dt20, Dm10, Di10
		10	16.8	33.25	0	0	0	0	10	Dt10
		15	16.3	33.52	0	0	0	0	0	
		20	15.7	33.60	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 14.0	10/14	0	16.8	33.16	0	0	0	0	0	
		10	16.7	33.19	0	0	0	0	10	Dm10
		20	14.2	33.41	0	0	10	0	40	Dt30, Di10
		30	13.3	33.78	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部と噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部と噴火湾西部に出現しています。

水温は10月中旬は噴火湾東部は15.2~17.1°C、噴火湾西部は13.3~16.8°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK30)

(函館水試担当地区)

2011年10月13日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	10/11	0	16.7	32.94	0	0	0	0	30	Dt30
噴火湾西部 13.0		5	16.8	32.94	0	0	0	20	0	
		10	16.7	32.99	0	0	0	10	30	Dt30
		15	16.0	33.77	0	0	20	0	20	Dm10, Dro10
		20	15.1	33.80	0	0	0	0	20	Dro20
		25	14.6	33.90	0	0	0	0	10	Dro10
		30	14.4	33.95	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は10月上旬は噴火湾西部は14.4~16.8°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK29)

(函館水試担当地区)

2011年10月7日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 6.0	10/4	0	15.8	33.32	0	0	20	0	10	Dm10
		10	14.6	33.75	0	0	0	0	30	Dru10, Di20
		20	14.1	33.84	0	0	10	0	0	
		30	13.3	33.95	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 13.5	9/28	0	20.0	32.30	0	0	0	10	30	Dm20, Di10
		5	19.8	32.37	0	0	0	0	10	Di10
		10	20.0	32.45	0	0	0	0	0	
		15	20.0	32.46	0	0	0	0	0	
		20	20.0	32.65	0	0	0	0	10	Di10
		25	19.4	32.75	0	0	0	0	10	Di10
		30	18.6	32.93	0	0	0	0	0	
40	14.8	33.28	0	0	0	0	0			
知内 津軽海峡 15.5	9/28	0	20.8	33.44	0	0	0	0	0	
		10	19.3	33.65	0	0	0	0	0	
		20	18.3	33.76	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現していません。

水温は9月下旬から10月上旬は太平洋中部は13.3~15.8°C、噴火湾湾口部は14.8~20.0°C、津軽海峡は18.3~20.8°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK28)

(函館水試担当地区)

2011年9月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 14.4	9/26	0	20.4	32.23	0	0	0	0	0	
		5	20.1	32.24	0	0	0	0	10	Dm10
		10	20.2	32.33	0	0	0	0	0	
		15	19.5	32.86	0	0	0	0	0	
		20	17.7	33.32	0	0	10	0	140	Dt130, Dro10
		25	17.4	33.70	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 11.5	9/15	0	21.5	31.06	0	0	0	0	0	
		10	21.8	32.73	0	0	0	0	0	
		20	17.9	32.79	0	0	0	0	0	
		30	11.1	33.08	0	0	10	0	60	Dm60
		40	9.0	32.96	0	0	20	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は9月下旬は噴火湾西部は9.0~21.8°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK27)

(函館水試担当地区)

2011年9月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 6.5	9/9	0	21.2	32.54	0	0	0	0	50	Dm40, Dro10
		10	18.3	33.39	0	0	0	0	40	Dm30, Dro10
		20	15.4	33.78	0	0	0	0	10	Dm10
		30	14.4	33.70	0	0	0	0	40	Dm40
虻田 噴火湾東部 9.0	9/12	0	21.1	28.13	0	0	0	10	0	
		5	21.2	32.61	0	0	0	0	20	Dm20
		10	21.2	32.76	0	0	0	0	10	Dru10
		15	20.3	32.98	0	0	0	0	20	Dm10
		20	17.7	33.08	0	0	0	10	0	
		25	15.5	33.12	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

水温は9月上旬は太平洋中部は14.4~21.2°C、噴火湾東部は15.5~21.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2011年8月31日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 10.0	8/29	0	22.9	30.97	0	0	0	0	0	
		5	22.4	31.17	0	0	0	0	30	Dt30
		10	21.6	31.58	0	0	0	0	130	Dt20, Dm110
		15	19.6	31.95	0	0	0	10	50	Dt20, Dm30
		20	15.9	32.29	0	0	0	10	30	Dt30
		25	12.5	32.55	0	0	40	20	60	Dt60
		30	10.3	32.69	0	0	20	0	10	Dro10
鹿部 噴火湾湾口部 10.0	8/25	0	20.8	31.61	0	0	0	20	20	Dt20
		5	18.9	31.92	0	0	10	0	90	Dt90
		10	18.1	31.98	0	0	0	0	30	Dt30
		15	16.4	32.19	0	0	0	0	10	Dt10
		20	11.4	32.60	0	0	0	0	20	Dt20
		25	10.0	32.49	10	0	20	10	60	Dt60
		30	8.6	32.68	0	0	40	0	70	Dt60, Dro10
		40	6.5	32.75	0	0	0	0	10	Dn10
知内 津軽海峡 11.0	8/25	0	24.5	33.05	0	0	0	0	0	
		10	24.1	33.38	0	0	0	10	0	
		20	23.4	33.47	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

水温は8月下旬は噴火湾西部は10.3~22.9°C、噴火湾湾口部は6.5~20.8°C、津軽海峡は23.4~24.5°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2011年8月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 7.0	8/17	0	22.2	31.15	0	0	0	0	10	Dro10
		10	17.9	31.82	0	0	0	0	50	Dt50
		20	9.8	32.50	10	0	10	20	50	Dt40, Dro10
		30	6.7	32.45	0	10	0	0	0	
		40	5.5	32.71	0	0	0	0	10	Dt10

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォールティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は8月中旬は噴火湾西部は5.5～22.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2011年8月12日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	8/8	0	20.6	32.70	0	0	0	40	0	
太平洋中部		10	18.4	32.87	0	0	0	20	20	Dt10, Dro10
11.0		20	13.1	33.05	0	0	0	50	40	Dt30, Dro10
		30	9.8	33.06	0	0	0	30	30	Dru20, Di10
虻田	8/8	0	22.8	30.82	0	0	0	0	20	Dt20
噴火湾東部		5	20.4	31.29	0	0	0	20	10	Dt10
11.0		10	18.8	31.52	0	0	20	0	20	Di10, Dru10
		15	14.3	32.24	0	0	110	70	20	Dt20
		20	11.3	32.59	0	0	0	0	0	
		25	9.9	32.74	0	0	20	10	10	Dt10

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

水温は8月上旬は太平洋中部は9.8~20.6°C、噴火湾東部は9.9~22.8°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2011年8月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 16.0	7/27	0	20.2	31.29	0	0	0	10	10	Dru10
		5	18.7	31.41	0	0	0	60	20	Dt20
		10	17.7	31.54	0	0	0	0	70	Dt70
		15	16.3	31.81	0	0	0	10	30	Dt30
		20	14.0	32.23	0	0	0	20	20	Dt10, Di10
		25	9.9	32.28	40	10	20	10	0	
森 噴火湾西部 15.0	7/28	0	19.7	31.12	0	0	0	0	30	Dt30
		10	17.6	31.41	0	0	0	10	40	Dt30, Di10
		20	13.6	31.97	0	0	0	0	70	Dt50, Di20
		30	7.9	32.38	0	0	0	10	40	Dt40
		40	6.3	32.51	0	0	0	10	50	Dt40, Di10
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	7/28	0	20.4	31.19	0	0	0	60	20	Dt20
		5	18.9	31.21	0	0	0	30	90	Dt90
		10	15.7	31.89	0	0	0	30	170	Dt170
		15	14.3	31.90	10	0	0	20	90	Dt80, Di10
		20	10.6	31.93	0	0	10	20	80	Dt80
		25	7.5	32.47	10	20	0	40	10	Dro10
		30	6.8	32.56	0	10	0	20	20	Dt10, Dn10
40	5.2	32.81	0	0	0	10	0			
知内 津軽海峡 11.0	7/26	0	20.4	33.20	0	0	0	0	0	
		10	16.4	33.92	0	0	0	0	0	
		20	14.3	34.08	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は7月下旬は噴火湾西部は5.9~20.2°C、噴火湾湾口部は5.2~20.4°C、津軽海峡は14.3から20.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2011年7月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/21	0	17.2	30.96	20	0	0	0	0	
太平洋中部 4.0		10	13.5	32.29	0	0	10	0	10	Dn10
		20	11.4	32.56	0	0	0	0	20	Dru20
		30	10.2	32.56	0	0	0	0	0	
虻田	7/22	0	19.3	31.01	0	0	0	10	10	Dt10
噴火湾東部 10.5		5	18.6	31.26	0	0	10	20	50	Dt40, Dru10
		10	17.3	31.52	0	0	0	50	20	Dt20
		15	15.1	31.81	0	0	0	50	10	Dru10
		20	9.3	32.29	0	0	10	10	10	Dn10
		25	7.6	32.66	0	10	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

水温は7月中旬は太平洋中部では10.2°C~17.2°C、噴火湾東部は7.6~19.3°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2011年7月11日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 4.5	7/6	0	14.5	31.84	40	0	10	0	0	Dru10, Dn30
		10	10.1	32.41	0	0	0	0	40	
		20	6.3	32.65	0	0	0	0	0	
		30	4.8	32.78	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.0	7/6	0	18.3	30.03	0	0	0	550	0	Dru10
		5	16.4	31.61	0	0	0	150	10	
		10	15.5	31.63	0	0	0	90	0	
		15	10.3	31.95	60	0	0	30	0	
		20	7.2	32.36	0	0	0	0	0	
	25	6.4	32.63	0	0	0	10	0		

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rugei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

水温は7月初旬は太平洋中部では4.8°C~14.5°C、噴火湾東部は6.4~18.3°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2011年7月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	7/6	0	17.3	31.45	0	0	0	460	20	Di20
噴火湾西部 11.5		10	15.0	31.75	0	0	0	170	20	Dru10, Dt10
		20	10.6	32.04	50	0	10	120	0	
		30	6.4	32.37	30	0	10	170	30	Dn30

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rugei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は7月初旬は噴火湾西部は6.4~17.3°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2011年7月4日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 ( )	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	6/28	0	11.7	31.99	90	0	20	60	0	
噴火湾西部		10	8.9	31.12	130	0	20	90	20	Dn20
9.5		20	6.5	32.47	50	0	0	120	0	
		30	4.9	32.61	80	0	0	60	0	
		40	4.3	32.76	10	0	0	0	0	

\* *D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシ フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシ アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシ ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシ トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシ ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシ コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシ インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシ ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシ ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。  
噴火湾西部では、出現数が100/Lを超えています。注意して下さい。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は6月下旬は噴火湾西部は4.3～11.7 です。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2011年6月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 ( )	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 8.5	6/13	0	12.2	32.10	40	0	0	90	20	Dn10, Dro10
		10	8.8	32.09	0	0	0	110	40	Dro30, Dn10
		20	3.6	32.61	0	0	0	10	0	
		30	3.4	32.71	0	0	0	0	10	Dn10
虻田 噴火湾東部 10.0	6/20	0	17.7	31.36	0	0	0	550	10	Di10
		5	13.9	31.62	0	0	0	560	10	Dru10
		10	9.6	32.08	50	0	0	210	10	Dn10
		15	7.8	32.32	100	0	0	600	20	Dn20
		20	6.7	32.45	30	10	10	100	0	
八雲 噴火湾西部 10.4	6/20	0	16.0	31.59	350	0	0	110	10	Dru10
		5	14.6	31.81	130	0	10	230	20	Di20
		10	9.4	32.21	260	0	0	530	20	Dn20
		15	8.0	32.39	470	0	10	340	20	Dn20
		20	7.0	32.47	230	0	0	590	10	Dn10
		25	6.0	32.56	130	0	0	310	10	Dn10
鹿部 噴火湾湾口部 10.5	6/17	0	14.3	31.66	10	0	0	290	20	Dru10, Di10
		5	13.5	31.67	20	0	0	380	0	
		10	9.8	31.96	100	0	40	950	0	
		15	8.2	32.33	200	0	10	740	10	Dn10
		20	8.5	32.88	80	0	0	150	10	Dn10
		25	8.0	32.82	270	0	0	10	10	Dn10
		30	7.5	32.87	200	0	10	120	40	Dn40
知内 津軽海峡 7.0	6/21	0	12.9	33.30	0	0	0	40	0	
		10	11.6	33.65	0	0	10	20	20	Di10, Dru10
		20	11.0	33.84	0	0	30	0	0	

\* *D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクタス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリボス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部では、出現数が100/Lを超えています。二枚貝の麻痺性貝毒検査結果に注目してください。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現していません。

水温は6月中旬は、太平洋中部は3.4～12.2、噴火湾東部は5.7～17.7、噴火湾西部は5.6～16.0、噴火湾湾口部は6.0～14.3、津軽海峡は11.0～12.9です。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2011年6月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	<i>A.o.</i> 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	<i>D</i> 属の他種 細胞/L	
虻田	6/6	0	12.2	31.45	0	0	0	290	0	
噴火湾東部 10.0		5	10.3	31.81	20	0	40	480	20	Dn10, Dro10
		10	9.4	31.90	40	0	10	360	40	Dn40
		15	8.9	31.98	360	0	10	200	20	Dn20
		20	8.4	32.15	240	10	10	40	60	Dn60
		25	8.0	32.25	260	10	0	0	10	Dn10

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

出現数は100/Lを超えています。二枚貝の麻痺性貝毒検査結果に注目してください。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は6月初旬は、噴火湾東部は8.0~12.2°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2011年6月7日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 5.8	6/1	0	4.8	32.34	0	0	0	30	40	Dn40
		10	4.6	32.40	0	0	0	30	70	Dn70
		20	4.4	32.46	10	0	0	20	30	Dn30
		30	4.2	32.47	0	0	0	20	30	Dn20, Dro10
森 噴火湾西部 7.0	6/6	0	12.6	31.56	130	0	0	80	0	
		10	10.3	31.81	1400	0	0	290	0	
		20	7.4	32.01	1300	0	0	30	0	
		30	7.4	32.31	1070	0	0	10	0	
		40	5.9	32.46	630	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

水温は6月初旬は、太平洋中部4.2~4.8°C、噴火湾西部5.9~12.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2011年5月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 10.8	5/20	0	7.0	32.19	10	0	0	10	10	Dn10
		10	4.9	32.24	0	0	0	0	20	Dn20
		20	4.7	32.59	0	0	0	0	10	Dn10
		30	4.8	32.70	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.0	5/23	0	8.9	30.29	0	0	0	20	0	
		5	6.9	32.25	100	0	0	20	0	
		10	6.6	32.35	70	0	0	0	0	
		15	6.3	32.40	0	10	0	0	0	
		20	6.2	32.45	50	0	0	0	0	
25	5.8	32.50	0	0	0	0	0			
八雲 噴火湾西部 6.8	5/18	0	7.6	31.63	100	10	0	0	0	
		5	7.4	31.65	100	10	0	0	0	
		10	5.9	32.32	40	0	0	0	0	
		15	5.5	32.43	0	0	0	0	0	
		20	5.5	32.57	0	0	0	0	0	
		25	5.2	32.65	0	0	0	0	0	
30	5.0	32.67	0	0	0	0	0			
森 噴火湾西部 14.0	5/26	0	9.9	31.53	310	0	0	10	0	
		10	6.9	32.28	50	0	0	0	0	
		20	6.0	32.44	40	0	0	0	0	
		30	4.9	32.59	80	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 6.0	5/25	0	11.2	33.62	0	0	10	0	0	
		10	9.8	33.67	0	0	280	0	0	
		20	9.7	33.72	0	0	10	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。  
麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現していません。

水温は5月中旬は、太平洋中部4.8~7.0°C、噴火湾東部5.8~8.9°C、噴火湾西部4.9~9.9°C、津軽海峡では9.7~11.2°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2011年5月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	5/9	0	7.1	30.88	150	0	0	10	0	
噴火湾東部 11.5		5	6.1	32.29	0	0	0	0	0	
		10	5.8	32.39	0	10	0	0	0	
		15	5.5	32.48	0	0	0	0	0	
		20	5.2	32.53	0	0	0	0	0	
		25	4.8	32.62	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は5月上旬は、噴火湾東部では4.8~7.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2011年5月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 4.0	5/6	0	5.4	31.64	0	0	0	0	0	
		10	3.7	32.58	0	0	0	0	0	
		20	3.7	32.59	0	0	0	10	10	Dro10
		30	3.7	32.67	0	0	0	10	10	Dro10
森 噴火湾西部 13.0	5/6	0	5.9	32.43	20	0	0	0	0	
		10	5.0	32.53	10	0	0	0	0	
		20	4.9	32.59	0	0	0	0	0	
		30	4.5	32.67	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。  
麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。  
下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現していません。

水温は5月上旬は、太平洋中部では3.7~5.4°C、噴火湾西部では4.5~5.9°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2011年5月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 1.5	4/26	0	3.7	31.18	0	0	0	0	0	
		10	2.1	32.48	0	0	0	0	0	
		20	2.1	32.47	0	0	0	0	0	
		30	2.1	32.50	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 4.0	4/26	0	6.2	31.70	0	0	0	0	0	
		10	5.5	32.24	10	0	0	10	0	
		20	4.8	32.78	10	10	0	0	0	
		30	4.5	32.82	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 5.5	4/27	0	6.1	31.98	20	0	0	0	0	
		5	5.4	32.41	10	0	0	0	0	
		10	5.3	32.47	40	0	0	0	0	
		15	5.1	32.57	0	0	0	0	0	
		20	4.7	32.73	10	0	0	0	0	
		25	4.7	32.74	0	0	0	0	0	
		30	4.6	32.81	10	0	0	0	0	
40	4.2	32.86	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。  
麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部と噴火湾湾口部には出現していません。  
下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は4月下旬は、太平洋中部では2.1~3.7°C、噴火湾西部では4.5~6.2°C、噴火湾湾口部では4.2~6.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2011年4月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 7.5	4/25	0	4.7	32.44	0	0	0	10	0	
		5	4.7	32.45	10	0	0	0	0	
		10	4.6	32.45	10	0	0	0	0	
		15	4.5	32.53	0	0	0	0	0	
		20	4.5	32.55	0	0	0	0	0	
		25	4.7	32.63	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 7.2	4/26	0	5.6	32.34	0	0	0	0	0	
		5	5.4	32.49	10	0	0	0	0	
		10	4.8	32.83	0	0	0	0	0	
		15	4.7	32.83	0	0	0	0	0	
		20	4.7	32.84	0	0	0	0	0	
		25	4.7	32.84	0	0	0	0	0	
		30	4.6	32.86	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 5.5	4/21	0	8.0	33.64	0	0	0	10	0	
		10	8.1	33.95	0	0	0	10	0	
		20	8.1	33.95	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部と噴火湾西部に出現しています。  
麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部と津軽海峡に出現しています。  
下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現していません。

水温は4月下旬は、噴火湾東部では4.5~4.7°C、噴火湾西部では4.6~5.6°C、津軽海峡では8.0~8.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2011年4月21日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	4/14	0	3.9	32.56	0	0	0	0	0	
太平洋中部 8.5		10	3.4	32.56	0	0	0	0	0	
		20	2.9	32.64	0	0	0	10	0	
		30	2.4	32.80	0	0	0	0	0	
虻田	4/18	0	4.8	32.41	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 15.0		5	4.8	32.78	0	0	0	0	0	
		10	4.1	32.89	0	0	0	0	0	
		15	3.6	32.96	0	0	0	0	0	
		20	3.1	32.99	0	0	0	0	0	
		25	3.1	33.05	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクタス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rugei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部と噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現していません。

水温は4月中旬は、太平洋中部では2.4~3.9°C、噴火湾東部では3.1~4.8°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2011年4月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	4/5	0	3.9	32.83	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	3.6	33.03	0	0	0	0	0	
22.0		20	3.5	33.01	10	0	0	0	0	
		30	3.4	33.02	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現していません。

水温は4月上旬は、噴火湾西部では3.4~3.9°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK8)

(函館水試担当地区)

2011年4月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 15.0	3/28	0	3.2	33.06	0	0	0	0	0	
		10	3.1	33.04	0	0	0	0	0	
		20	3.1	33.08	0	0	0	0	0	
		30	3.0	33.09	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 13.0	3/25	0	7.5	33.83	0	0	0	10	0	
		10	7.3	33.89	0	0	0	30	0	
		20	7.2	33.90	0	0	0	10	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現していません。

水温は3月下旬は、噴火湾西部では3.0~3.2°C、津軽海峡では7.2~7.5°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2011年3月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 7.5	3/26	0	3.4	32.79	10	0	0	0	0	
		5	3.2	33.01	0	0	0	0	0	
		10	3.0	33.16	10	0	0	0	0	
		15	3.0	33.17	0	0	0	0	0	
		20	3.0	33.17	0	0	0	0	0	
		25	2.9	33.18	0	0	0	0	0	
		30	3.4	33.38	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現していません。

水温は3月下旬は、噴火湾西部では2.9~3.4°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2011年3月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	3/18	0	2.6	33.01	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		5	2.6	33.00	0	0	0	0	0	
5.5		10	2.6	32.97	20	0	0	0	0	
		15	2.6	32.98	0	10	0	10	0	
		20	2.5	32.97	0	0	0	0	0	
		25	2.4	32.95	0	0	0	0	0	
		30	2.4	33.00	0	10	0	0	0	
		40	2.4	33.00	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は3月中旬は、噴火湾湾口部では2.4~2.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK5)

(函館水試担当地区)

2011年3月11日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	3/4	0	1.0	32.54	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	1.1	32.75	0	0	0	0	0	
5.8		20	1.1	32.79	0	0	0	0	0	
		30	1.2	32.83	0	0	0	0	0	
虻田	3/7	0	2.8	32.66	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	2.5	33.03	0	0	0	10	0	
6.5		10	2.5	33.03	0	0	0	0	0	
		15	2.6	33.06	0	0	0	10	0	
		20	2.6	33.07	0	0	0	0	0	
		25	2.6	33.09	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシ フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシ・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシ ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシ トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシ ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシ コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシ インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rugei* ティノフィシ ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシ ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

水温は3月初旬は、太平洋中部1.0~1.2°C、噴火湾東部では2.5~2.8°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK4)

(函館水試担当地区)

2011年2月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部 噴火湾湾口部 10.0	2/24	0	3.5	33.04	0	0	0	0	0	
		5	3.4	33.05	0	0	0	0	0	
		10	3.2	33.12	0	0	0	0	0	
		15	3.3	33.25	0	0	0	0	0	
		20	3.3	33.29	0	0	0	0	0	
		25	3.4	33.31	0	0	0	0	0	
		30	3.4	33.32	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 16.0	2/16	0	7.6	33.88	0	0	0	0	0	
		10	7.6	33.90	0	0	0	0	0	
		20	7.6	33.90	0	0	0	20	10	Dru10

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェンカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部には出現していません。

水温は2月中旬は、噴火湾湾口部は7.6°C、噴火湾湾口部では3.2~3.5°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK3)

(函館水試担当地区)

2011年2月15日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.5	2/2	0	1.9	32.79	0	0	0	0	0	
		10	1.9	32.79	0	0	0	0	0	
		20	1.9	32.82	0	0	0	0	0	
		30	2.0	32.82	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 9.5	2/10	0	3.5	32.94	0	0	0	0	0	
		5	3.5	33.34	0	0	0	0	10	Dro10
		10	3.5	33.37	0	0	0	0	0	
		15	3.7	33.44	0	0	0	0	0	
		20	3.8	33.44	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 11.0	2/8	0	3.6	33.29	0	0	0	0	0	
		10	3.6	33.30	0	0	0	0	0	
		20	3.6	33.30	0	0	0	0	0	
		30	3.6	33.33	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 8.0	2/9	0	3.3	33.43	0	0	0	0	0	
		5	3.4	33.49	0	0	0	0	0	
		10	3.4	33.49	0	0	0	0	0	
		15	3.4	33.50	0	0	0	0	0	
		20	3.4	33.50	0	0	0	0	0	
		25	3.4	33.50	0	0	0	0	0	
30	3.4	33.50	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクサス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部には出現していません。

水温は2月初旬は、太平洋中部では1.9~2.0°C、噴火湾東部では3.5~3.8°C、噴火湾西部では3.3~3.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK2)

(函館水試担当地区)

2011年1月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 14.0	1/19	0	4.7	33.02	0	0	0	0	0	
		5	4.8	33.46	0	0	0	0	0	
		10	4.8	33.47	0	0	0	0	0	
		15	4.8	33.48	0	0	0	0	0	
		20	4.8	33.48	0	0	0	0	0	
		25	4.8	33.49	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 8.0	1/18	0	4.3	33.39	0	0	0	0	0	
		10	4.3	33.39	0	0	0	0	0	
		20	4.3	33.40	0	0	0	0	0	
		30	4.4	33.41	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 11.0	1/22	0	4.3	33.52	0	0	0	0	0	
		5	4.3	33.55	0	0	0	0	0	
		10	4.3	33.55	0	0	0	0	0	
		15	4.3	33.55	0	0	0	0	0	
		20	4.3	33.55	0	0	0	0	0	
		25	4.3	33.55	0	0	0	0	0	
		30	4.2	33.54	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 14.0	1/17	0	8.2	33.60	-	-	-	-	-	欠測
		10	8.2	33.63	0	0	0	0	0	
		20	8.3	33.66	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

水温は1月中旬は、噴火湾東部では4.7~4.8°C、噴火湾西部では4.2~4.4°C、津軽海峡では8.2~8.3°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK1)

(函館水試担当地区)

2011年1月13日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	1/5	0	4.8	32.94	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	4.8	32.98	0	0	0	0	0	
4.5		20	4.9	33.00	0	0	0	0	0	
		30	4.9	33.00	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

水温は1月初旬は、太平洋中部では4.8~4.9°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)